

研究課題：腸重積症の腸管虚血のリスク因子の検討

1. 研究の目的

腸重積症は子供の腸閉塞の原因として、頻度の高い疾患です。腸管壊死あるいは強い腸管虚血（以下、腸管虚血）が疑われる場合は、当院のような小児外科医の常駐する三次医療機関に搬送され、手術が必要となります。しかしながら、小児の腸重積症患者から腸管虚血を疑うリスク因子に関する研究はありません。

そこで、当院の腸重積症の症例を振り返り、腸管虚血をきたした患者の特徴を明らかにすることを目的として研究を行います。これにより、搬送あるいは手術が必要な患者の適切な選別が可能となることを期待しています。

2. 研究の方法

2017年1月から2024年3月までに腸重積症と診断された患者様が対象となります。

診療録から、患者様の基本的情報、検査結果、治療内容、入院期間やその後の経過等の情報を調べまとめます。

3. 研究期間

倫理委員会で承認された後から2028年3月まで

4. 研究に用いる資料・情報の種類

救急外来受診時の所見とその後の経過を、カルテの記載や手術記録から、検査に関する事柄（画像、検査所見、治療方法）治療内容に関する事柄（整復方法や入院期間、などを調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：救急診療科 医長 早野 駿佑

研究分担者：集中治療科	医長	三浦	義文
救急診療科	医長	中野	諭
集中治療科	科長兼副部長	新津	健裕
救急診療科	科長兼部長	植田	育也

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2025 年 12 月 31 日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）